

私の留学体験記

広島県立上下高等学校 3年 藤原 壮隆 (ふじわら あきたか)
留学期間 平成30年8月17日 ~ 平成30年8月24日 (8日間)
留学先 平湖市職業中等专业学校 (浙江省平湖市, 中華人民共和国)

私は、日本から離れ日本を客観的に見て日本と中国の違いを知りたいと思い、留学を決意した。広島空港に着くと私たちを待ち受けていたのは飛行機の遅延だった。目的地の上海空港では台風が直撃しており、その日出発できるのか心配だった。しかし、すぐに台風は過ぎ3時間遅れで出発することができ、安心した。

無事、目的地に着き学校へ挨拶をしに伺った。姉妹校の先生方へ上下高校に来ている研修生や、上下高校の取組、日頃の様子について沢山お伝えすることが出来た。

その後、姉妹校近くのレストランで開催していただいた食事会でおもてなしをしていただいた。初めて本場の料理を食べて「味が濃い！」と思いました。とても沢山の料理を注文してくださり、食べきれなかった。沢山の品数でもてなすのが中国のもてなし方だと後から知り、新しい発見になった。2日目は、近隣の観光名所へ行き午後からはサッカー観戦をした。3日目は、招興という少し離れた観光名所で、1日中博物館や資料館などを観光したり買い物をしたりして楽しかった。4日目は、3Dプリントの体験を姉妹校の生徒達に通訳してもらいながら楽しく行うことができた。完成品はとてもカッコいいゴム鉄砲で皆で作れて面白かった。5日目は、古い商店街を探索し、午後からは博物館で陶芸を体験した。陶芸は上手にできず形がいびつになったりして、たくさん笑った。6日目は、午前中は野球をし、午後からは木工体験でイスを作成した。7日目は、動画撮影の際に使用するカメラやドローンの操作を教えていただいた。日本の学校には無い機材だったのでとても貴重な体験となった。最終日は、来年度上下高校に研修に来る生徒達と上海で交流した。



。人生初の小籠包は、とても美味しかったが口内を大やけどした。

この1週間でたくさんの友達ができた。別れが辛かった。短期留学を通して、日本を外から見ることができ日本の良さと中国の良さを知ることができた。短い期間だったが、今後忘れることが無いくらい楽しい思い出ができた。

